

### 1.5 注目すべき種の分布状況（飼育(ペット)由来の国外外来種）

近年、ペットショップなどで購入した国外外来種が逃げ出したり、野外へ遺棄されるなどして、本来は日本に生息しない種が侵入し、在来種との競合など生態系に深刻な影響を与えるケースがみられます。

ここでは、このような、主にペットとして飼育されている国外外来種の確認状況について整理しました。

なお、今回のとりまとめは一級河川 37 河川を対象にしています。

#### 【飼育(ペット)由来の国外外来種】

(魚類調査)

##### ● コイ(飼育品種)、タイリクバラタナゴを確認

国外外来種の中でペット由来と考えられる種のうち、特定外来生物に指定されていない種について確認状況を整理しました。また参考として、古くからペットとして親しまれてきたキンギョについても確認状況を整理しました。

コイ(飼育品種)は、今回とりまとめを行った 37 河川のうち、7 河川で確認されました。タイリクバラタナゴは、今回とりまとめを行った 37 河川のうち、23 河川で確認されました。グッピーとキンギョは、今回とりまとめを行った 37 河川では確認されませんでした。

(資料掲載:1-45～1-54ページ、1-57～1-58 ページ)

#### 1～4 巡目調査の確認河川数の比較

種類	1 巡目調査 (76 河川)	2 巡目調査 (119 河川)	3 巡目調査 (122 河川)	4 巡目調査 (110 河川)
ブラックアロワナ	1 河川 〔1.3%〕	0 河川 〔0.0%〕	0 河川 〔0.0%〕	0 河川 〔0.0%〕
コイ (飼育品種)	8 河川 〔10.5%〕	12 河川 〔10.1%〕	17 河川 〔13.9%〕	26 河川 〔23.6%〕
タイリクバラタナゴ	33 河川 〔43.4%〕	75 河川 〔63%〕	75 河川 〔61.5%〕	69 河川 〔62.7%〕
グッピー	1 河川 〔1.3%〕	2 河川 〔1.7%〕	1 河川 〔0.8%〕	4 河川 〔3.6%〕
キンギョ	7 河川 〔9.2%〕	16 河川 〔13.4%〕	14 河川 〔11.5%〕	7 河川 〔6.4%〕

※確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

※1～3 巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。

※ ( ) 内は調査実施河川数を示す。

※ [ ] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合(%)を示す。

### 1～4 巡目調査の確認地区数の比較

種類	1 巡目調査 (565 地区)	2 巡目調査 (938 地区)	3 巡目調査 (996 地区)	4 巡目調査 (796 地区)
ブラックアロワナ	1 地区 〔0.2%〕	0 地区 〔0.0%〕	0 地区 〔0.0%〕	0 地区 〔0.0%〕
コイ（飼育品種）	8 地区 〔1.4%〕	19 地区 〔2.0%〕	24 地区 〔2.4%〕	40 地区 〔5.0%〕
タイリクバラタナゴ	132 地区 〔23.4%〕	307 地区 〔32.7%〕	315 地区 〔31.6%〕	222 地区 〔27.9%〕
グッピー	1 地区 〔0.2%〕	1 地区 〔0.1%〕	2 地区 〔0.2%〕	4 地区 〔0.5%〕
キンギョ	11 地区 〔1.9%〕	17 地区 〔1.8%〕	29 地区 〔2.9%〕	8 地区 〔1.0%〕

※確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

※1～3 巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。

※（ ）内は調査実施地区数を示す。

※〔 〕内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合(%)を示す。

ブラックアロワナは南米原産で、観賞魚として人気があります。今回とりまとめを行った 37 河川では確認されませんでした。今回とりまとめを行った河川以外の河川で、1 巡目調査で 1 河川、1 地区で確認されています。

コイ（飼育品種）は、カガミゴイ、カワゴイなどを含みます。今回とりまとめを行った 37 河川のうち、7 河川で確認されました。また確認地区では 5 地区で確認されました。確認河川数の割合は 2 巡目調査 10.1%、3 巡目調査 13.9%、4 巡目調査 23.6%で、増加の傾向がうかがえました。なお現在河川に生息するコイの多くは、飼育品種や外来のコイとの交雑であることが知られていますが、ここでのコイ（飼育品種）は、体色等で明確に飼育品種とわかる個体としました。

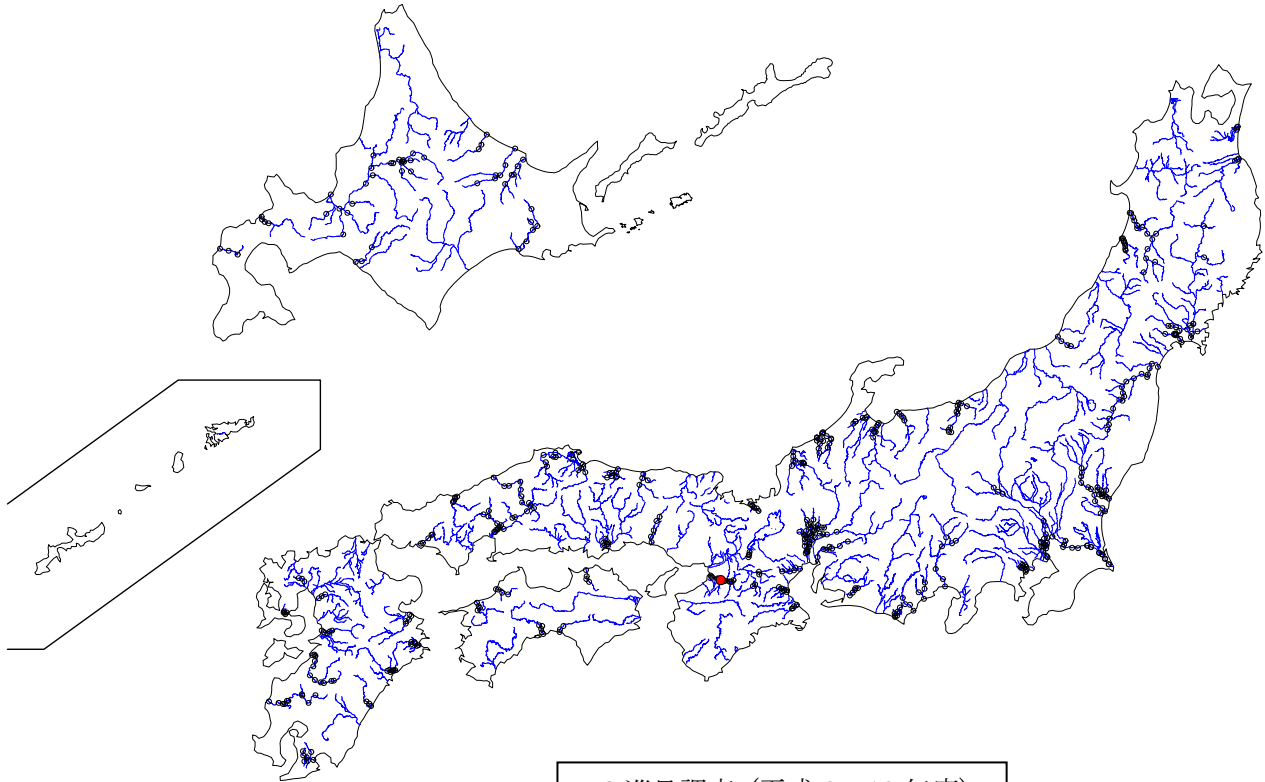
タイリクバラタナゴは、今回とりまとめを行った 37 河川のうち、23 河川で確認されました。また確認河川数の割合は 2 巡目調査以降 60%台で推移し、今回とりまとめを行った他の 3 種と比較して広い範囲で生息が確認されています。2 巡目調査以降は、確認河川・確認地区共に概ね横ばい状態と考えられます。

グッピーは、今回とりまとめを行った 37 河川では確認されませんでした。2 巡目調査 2 河川、3 巡目調査 1 河川、4 巡目調査 4 河川で確認されています。

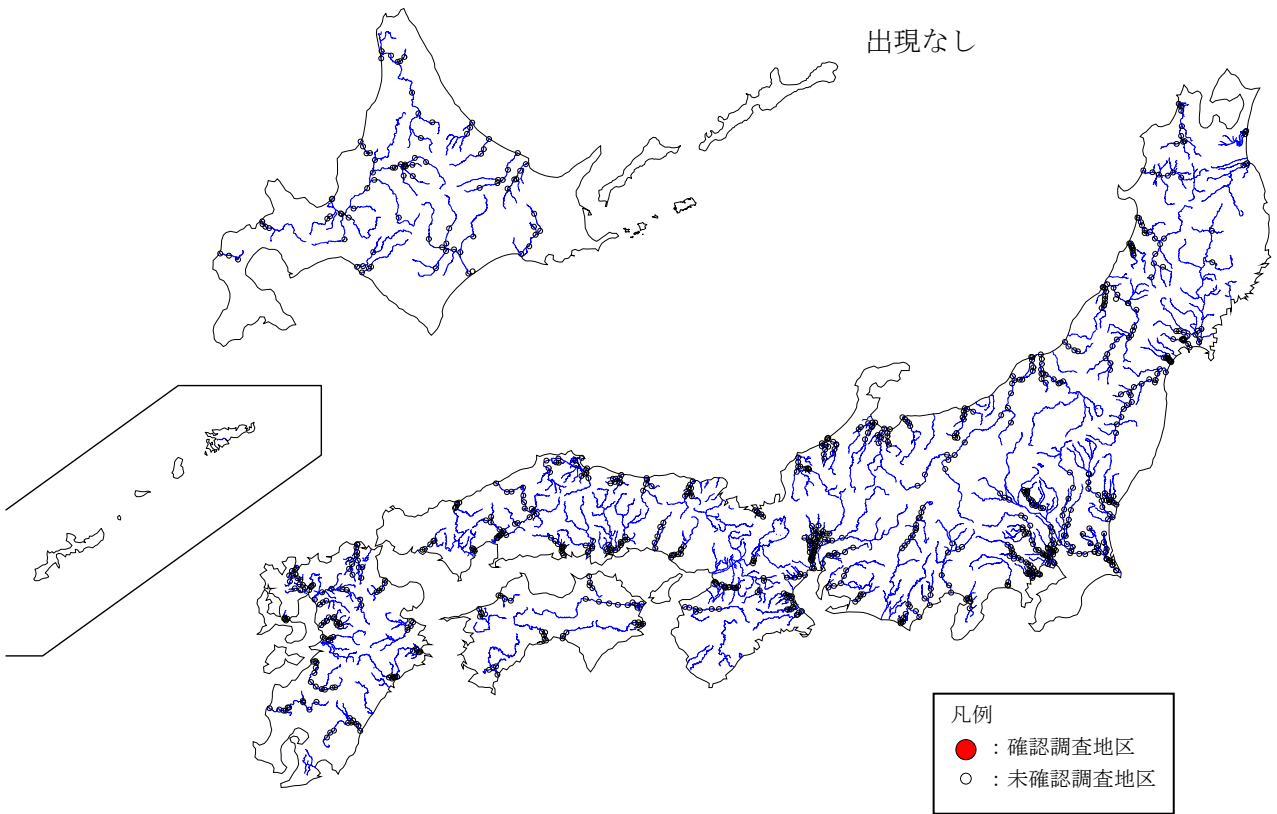
キンギョは、今回とりまとめを行った 37 河川では確認されませんでした。4 巡目調査では 7 河川で確認されています。なおキンギョについては、体色や体形で明確にキンギョとわかる個体を対象としました。

今回とりまとめを行ったブラックアロワナ、グッピー、キンギョについては増加傾向がみられませんでした。一方タイリクバラタナゴについては、既に広い範囲で確認されています。国外外来種は野外に放たれた場合、在来の生態系への深刻な影響、漁業被害等、様々な問題を及ぼす恐れがあり、ペットについても取り扱いに注意することが必要です。

1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

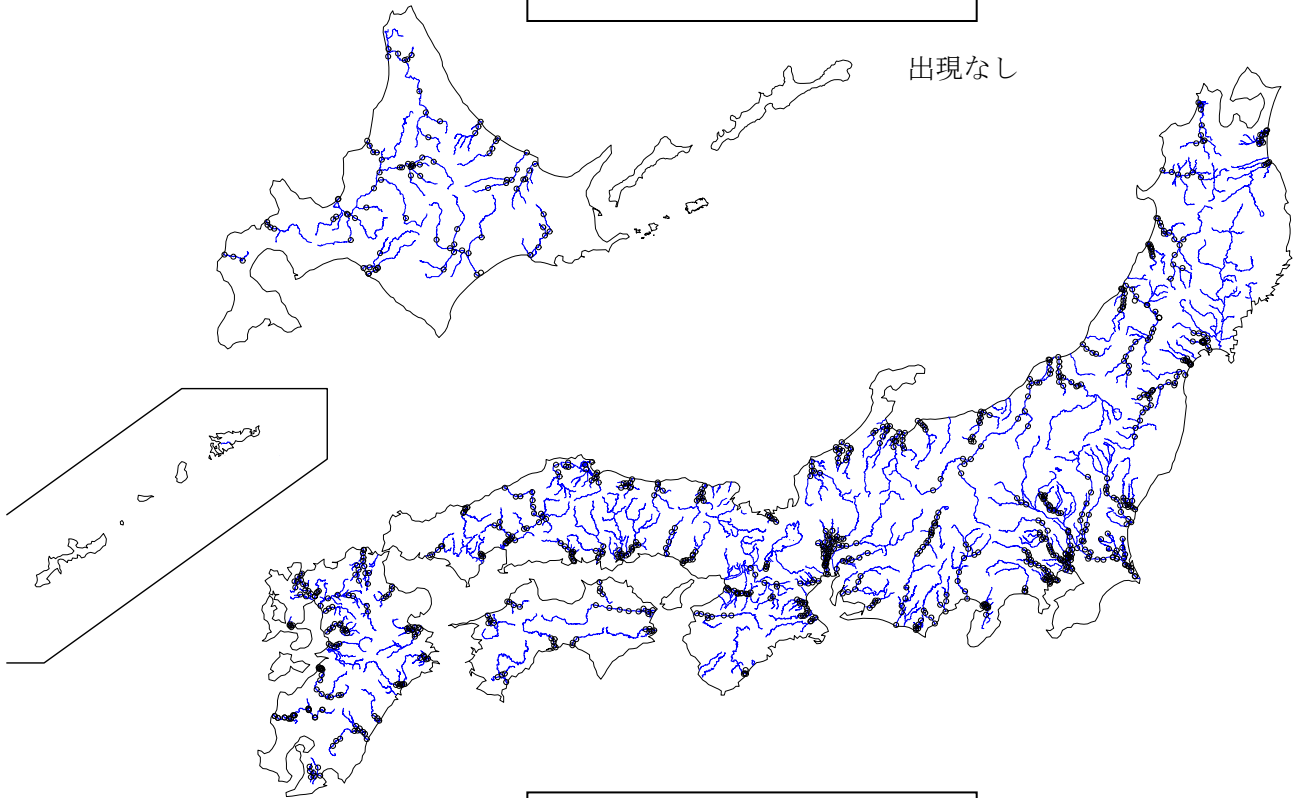


2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

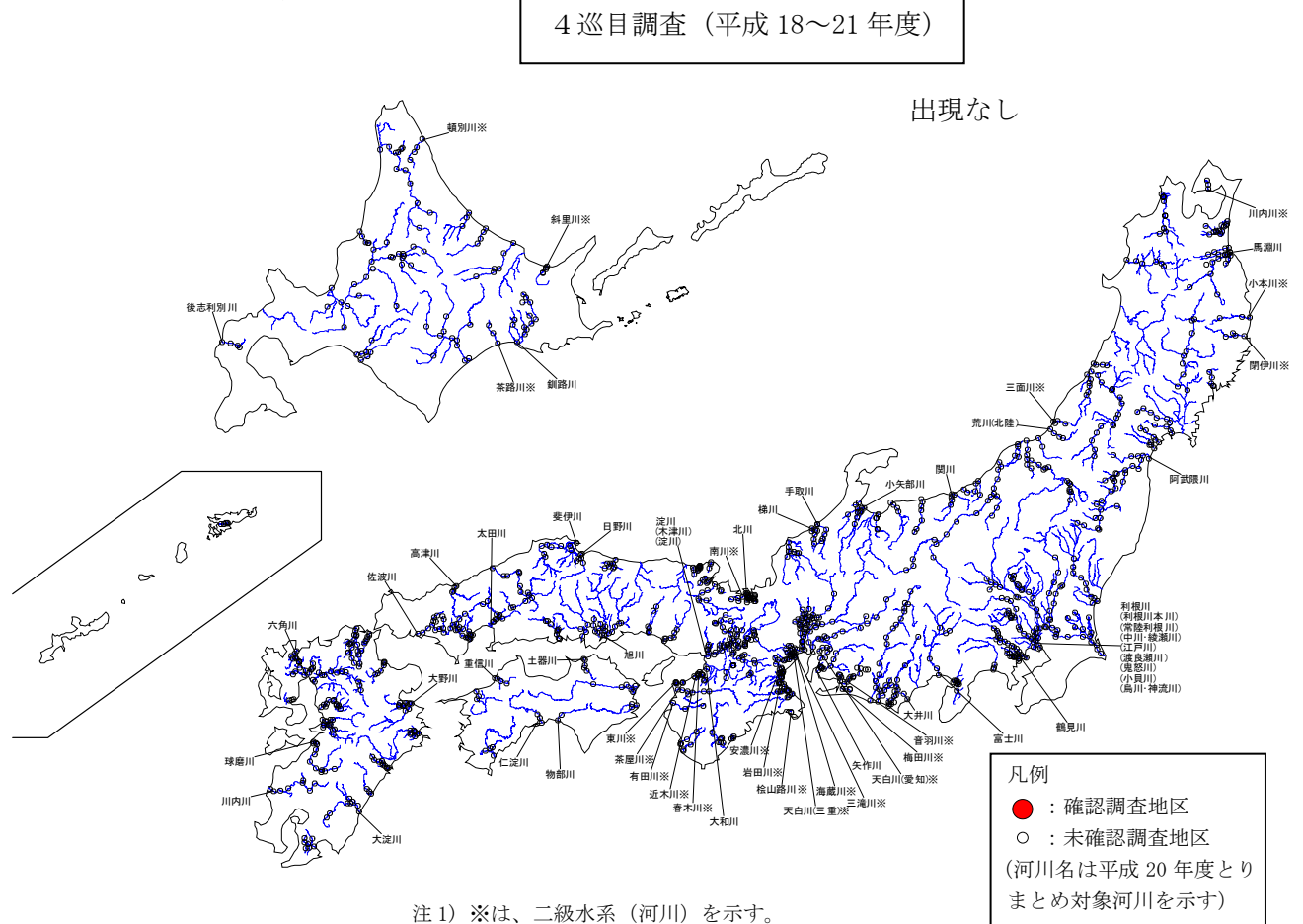


ブラックアロワナの確認された地域 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



4 巡目調査 (平成 18~21 年度)

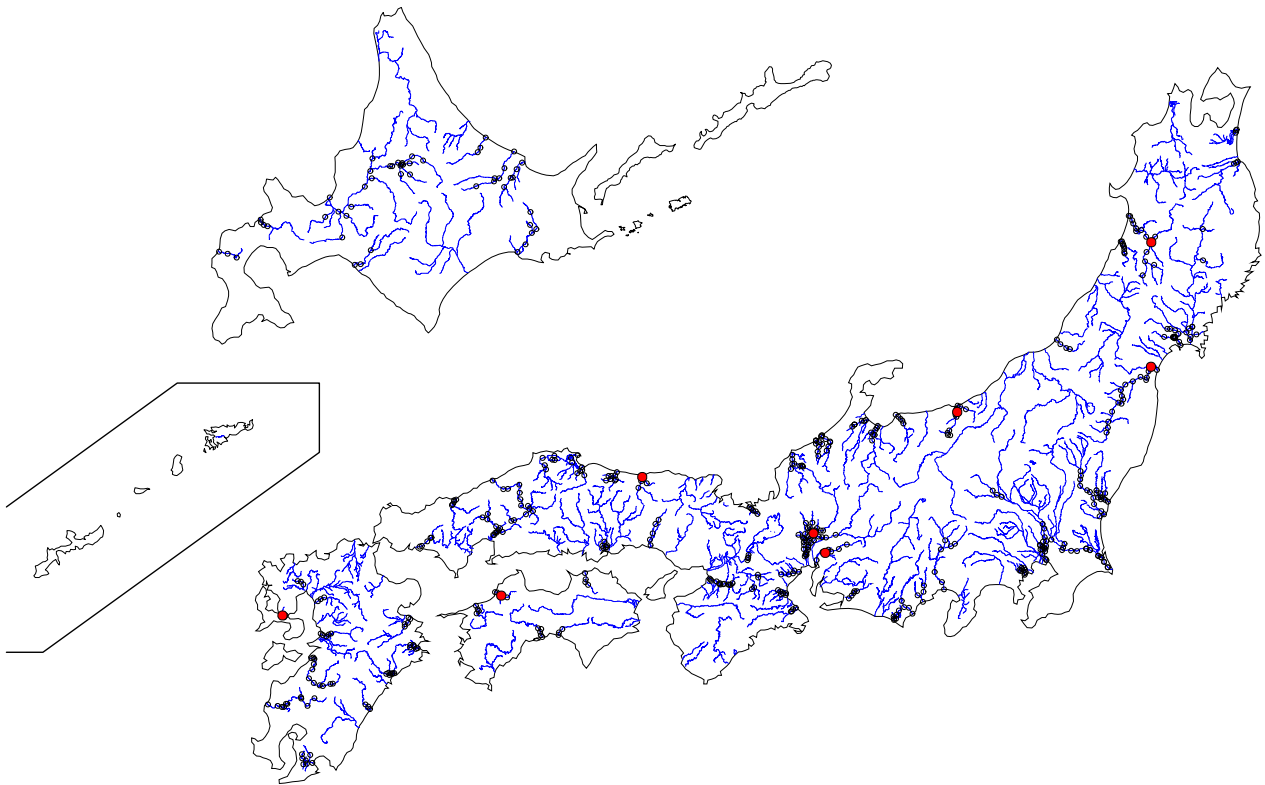


注 1) ※は、二級水系 (河川) を示す。

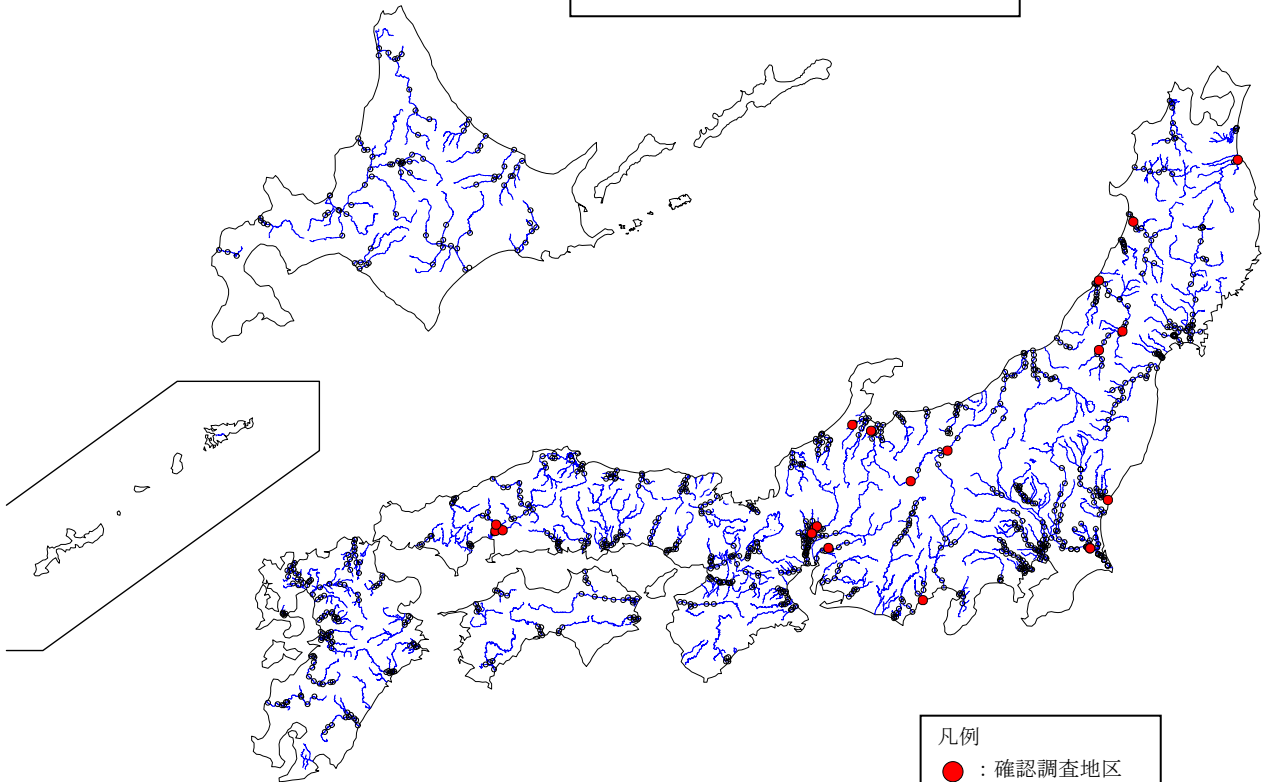
注 2) 4 巡目調査は調査実施途中で、123 河川中 13 河川が調査未実施である。

ブラックアロワナの確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)

1 巡目調査 (平成 2~7 年度)



2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

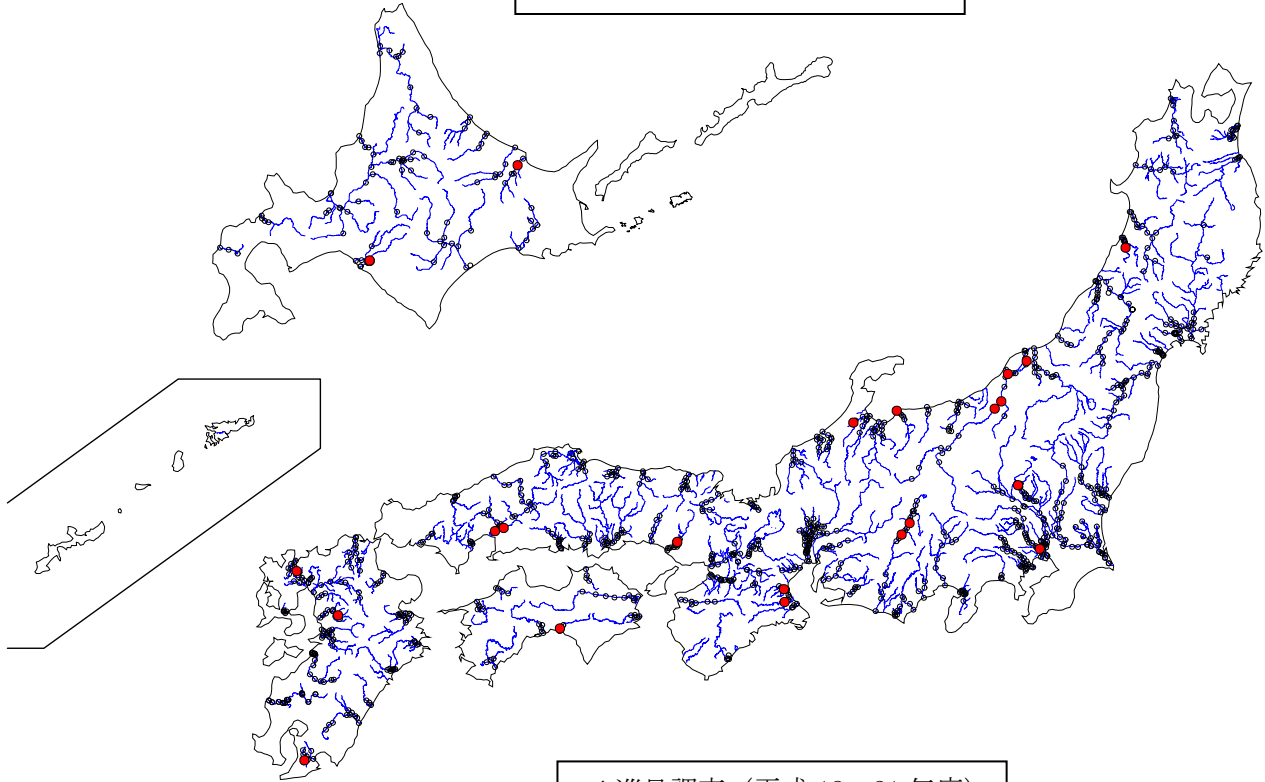


凡例

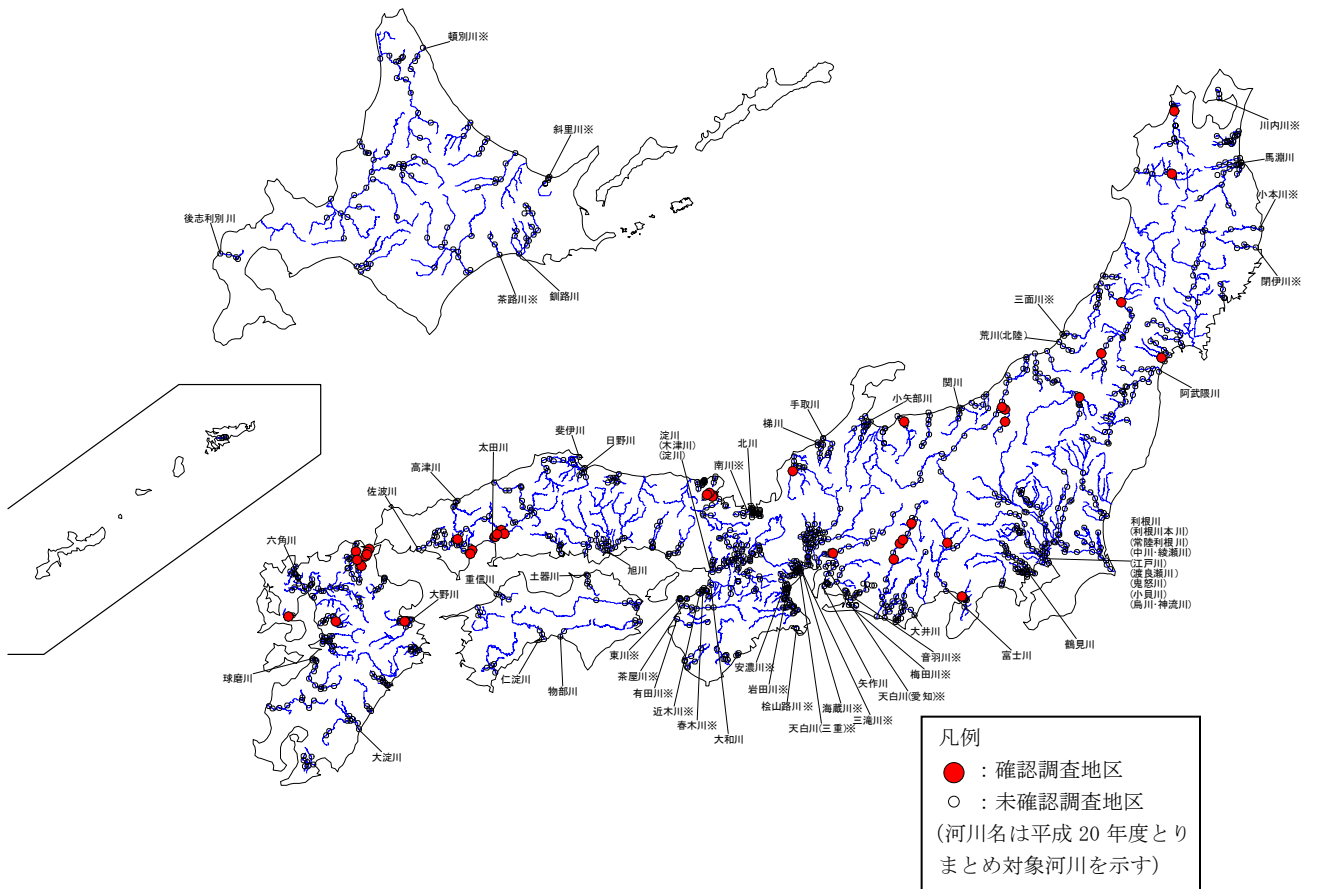
- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

コイ (飼育品種) の確認された地域 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



4 巡目調査 (平成 18~21 年度)

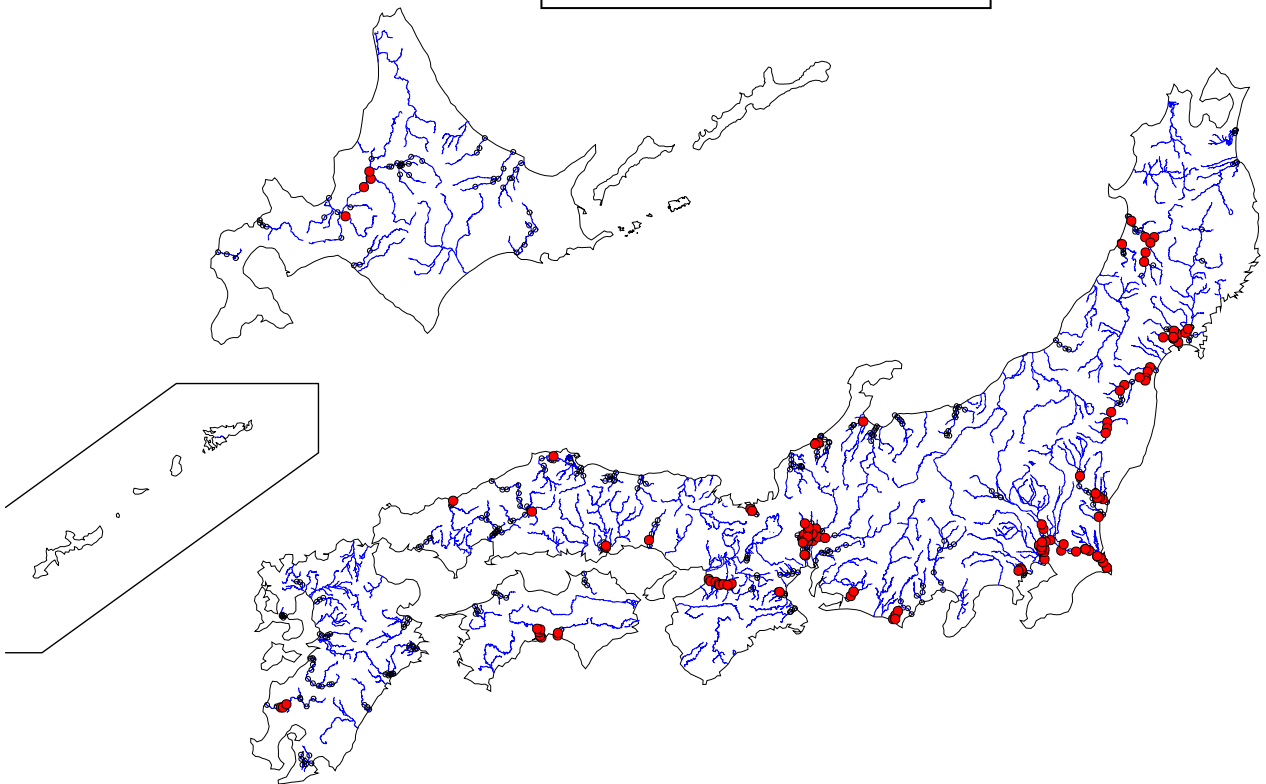


注 1) ※は、二級水系 (河川) を示す。

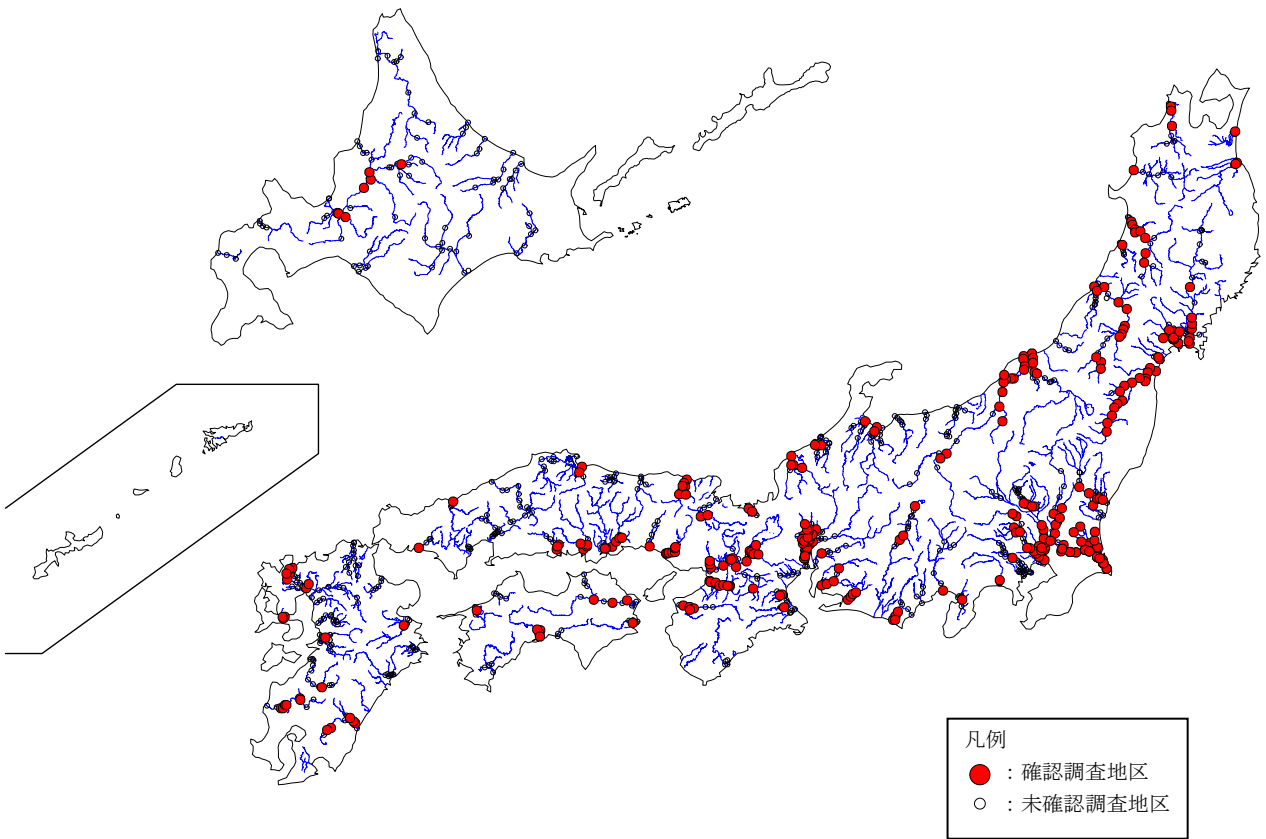
注 2) 4 巡目調査は調査実施途中で、123 河川中 13 河川が調査未実施である。

コイ (飼育品種) の確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)

1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

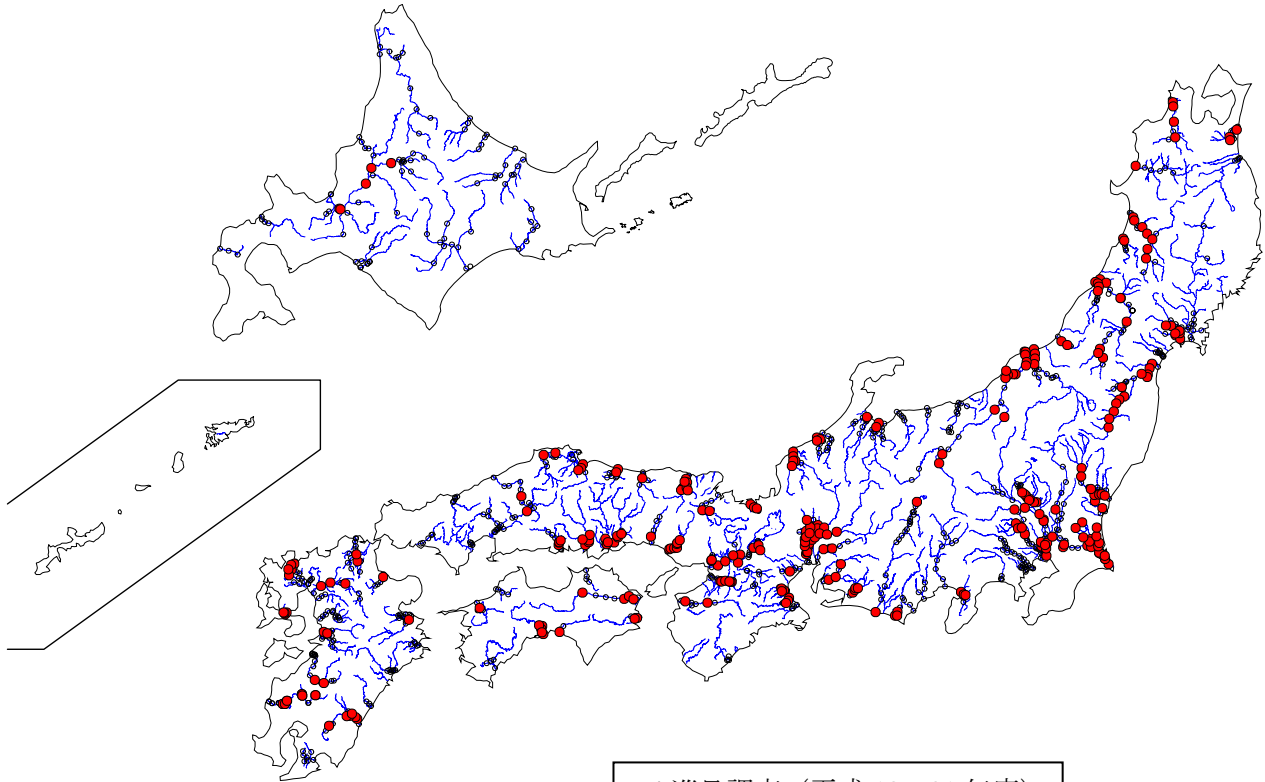


2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

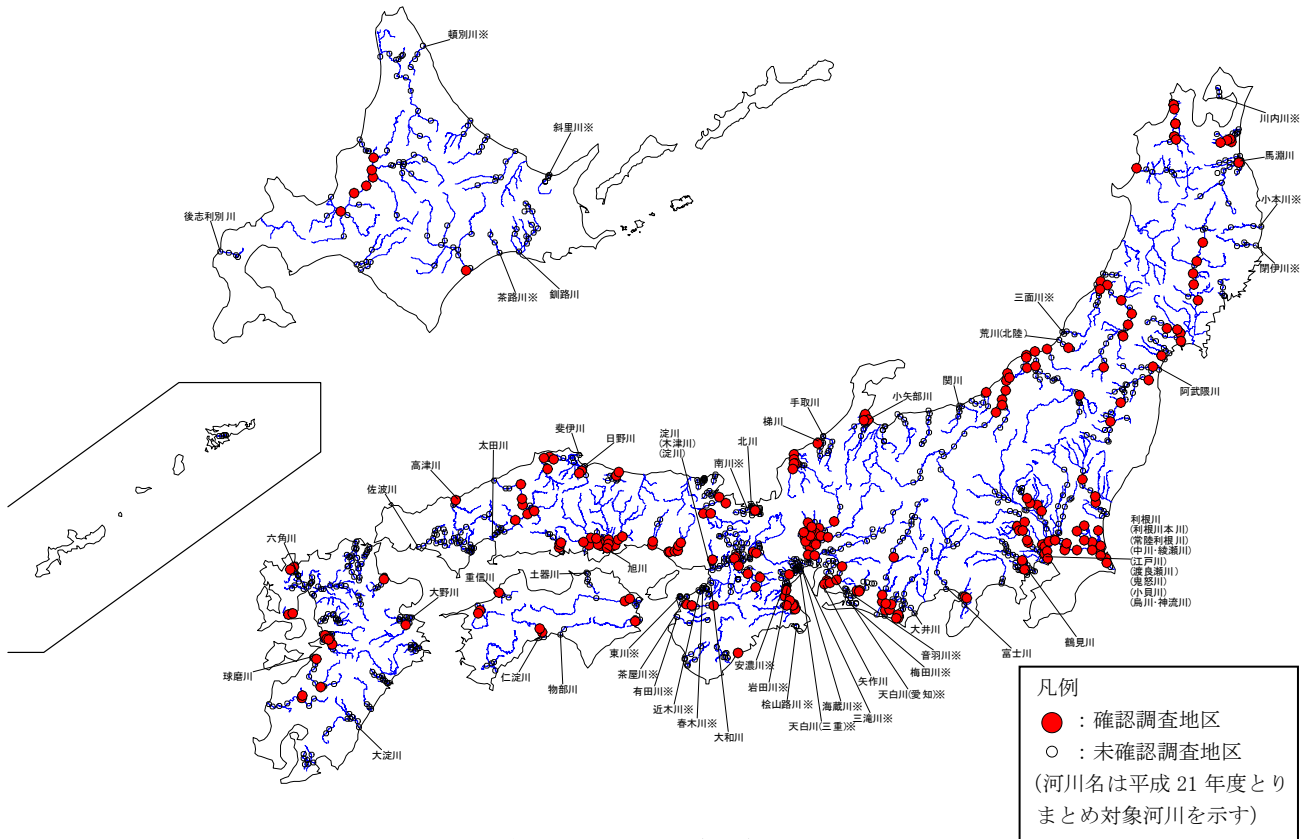


タイリクバラタナゴの確認された地域 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～21 年度）



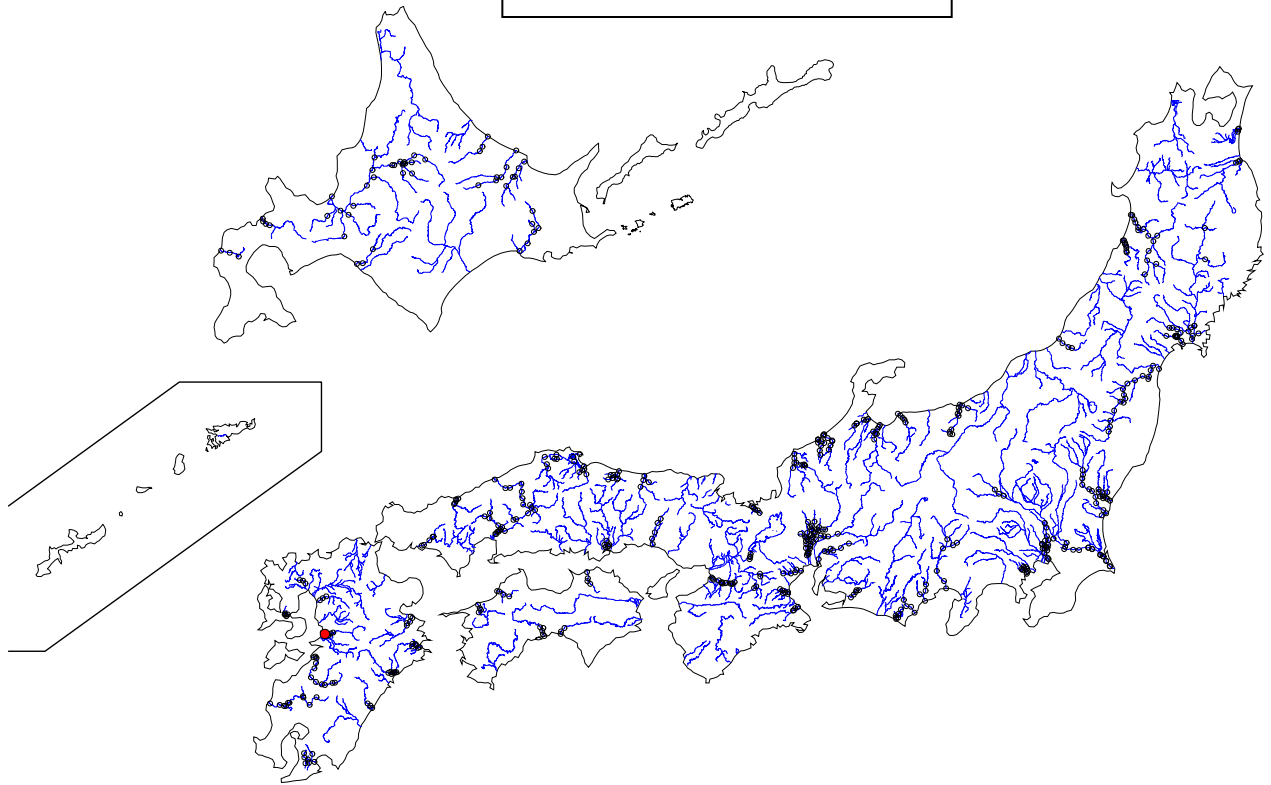
注 1) ※は、二級水系（河川）を示す。

注 2) 4 巡目調査は調査実施途中で、123 河川中 13 河川が調査未実施である。

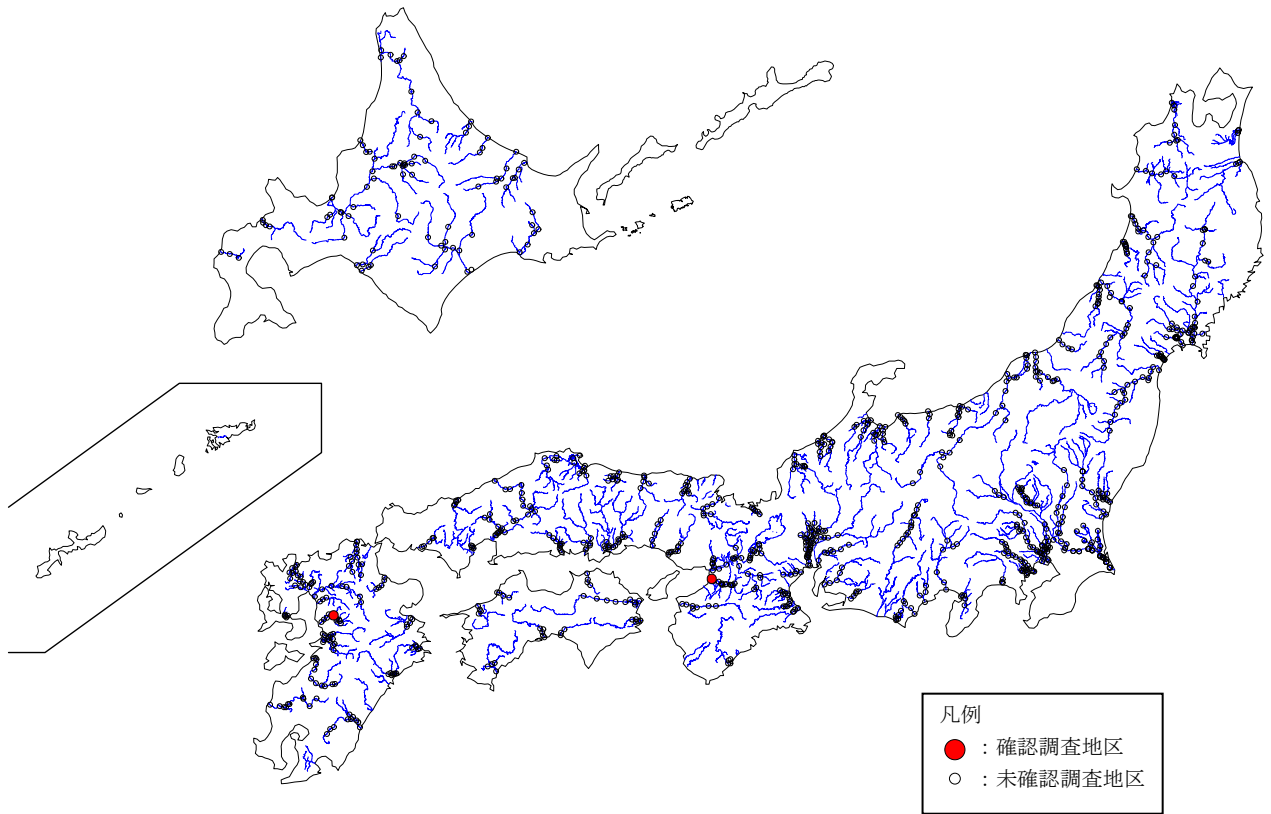
タイリクバラタナゴの確認された地域（3 巡目調査、4 巡目調査）



1 巡目調査 (平成 2～7 年度)

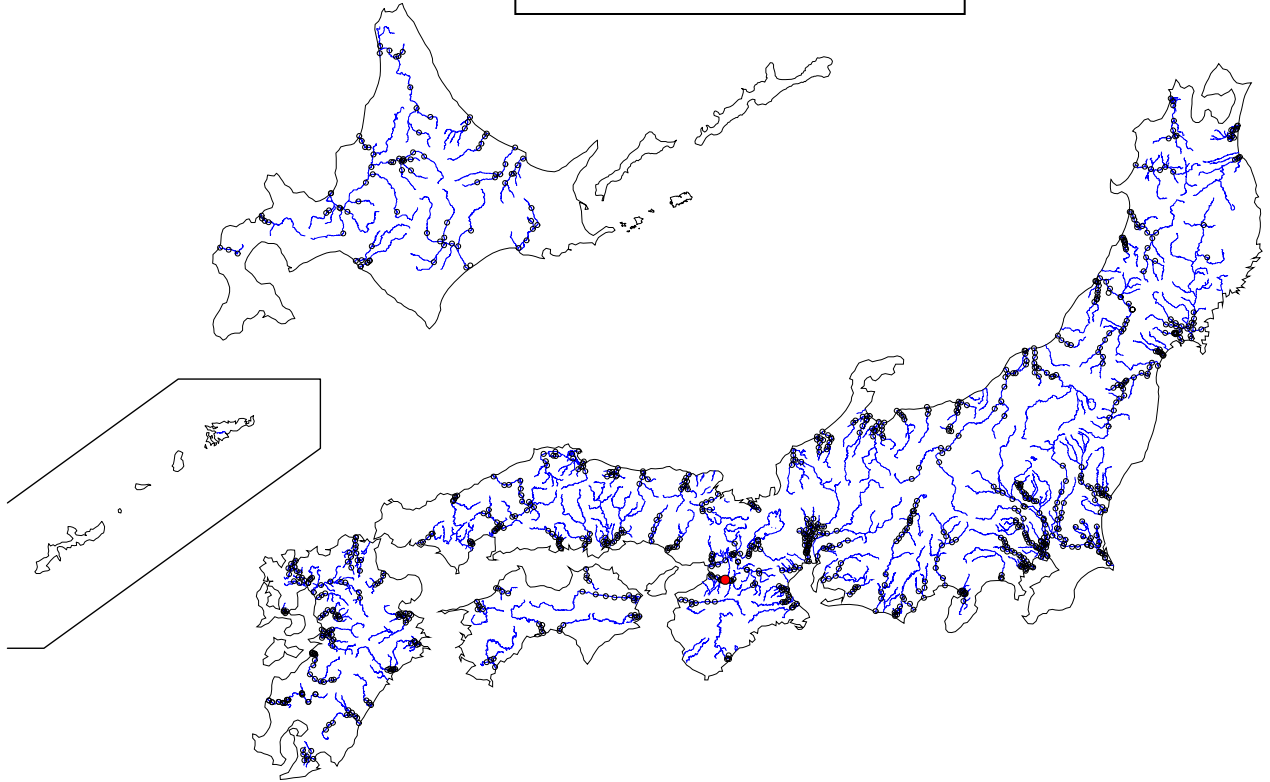


2 巡目調査 (平成 8～12 年度)

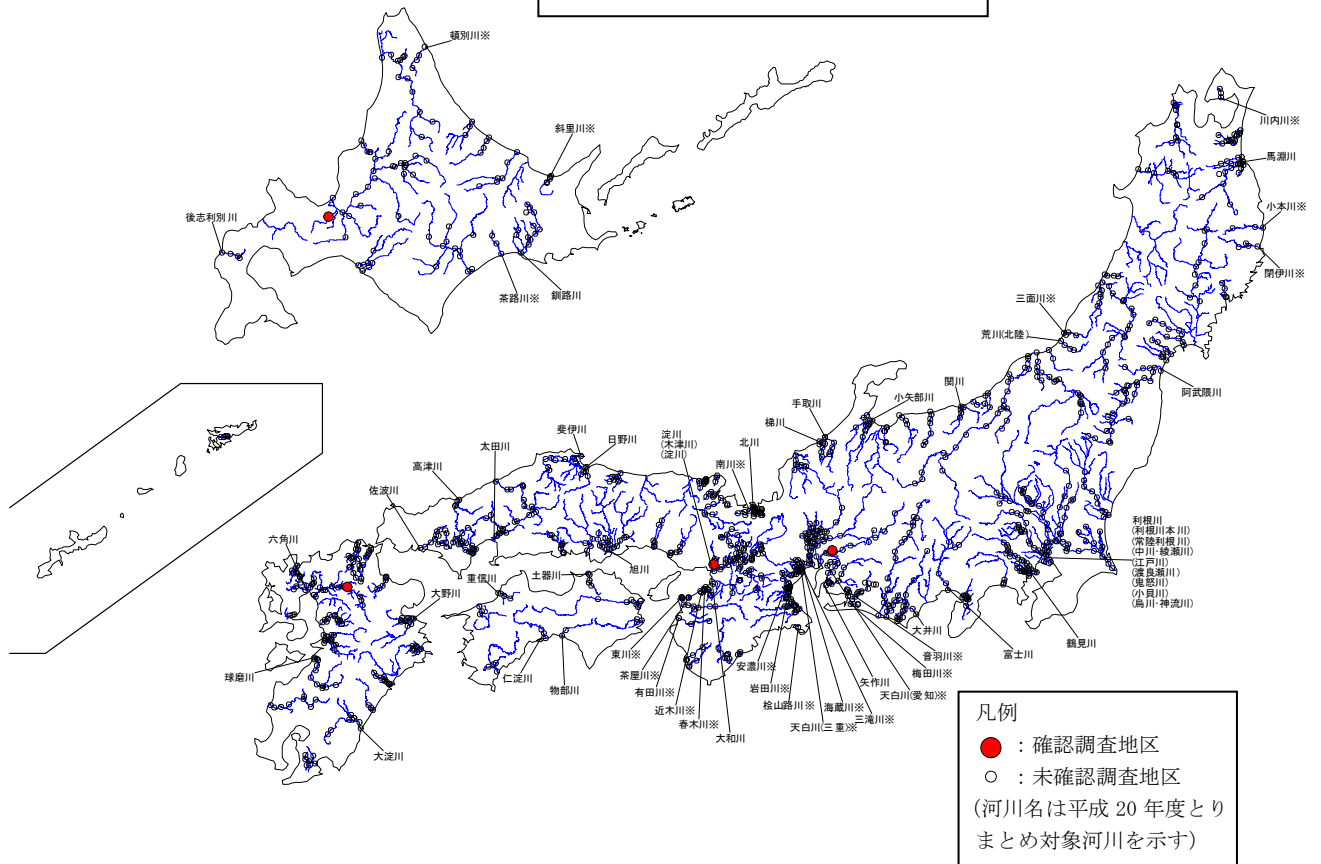


グッピーの確認された地域 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3巡目調査（平成13～17年度）



4巡目調査（平成18～21年度）

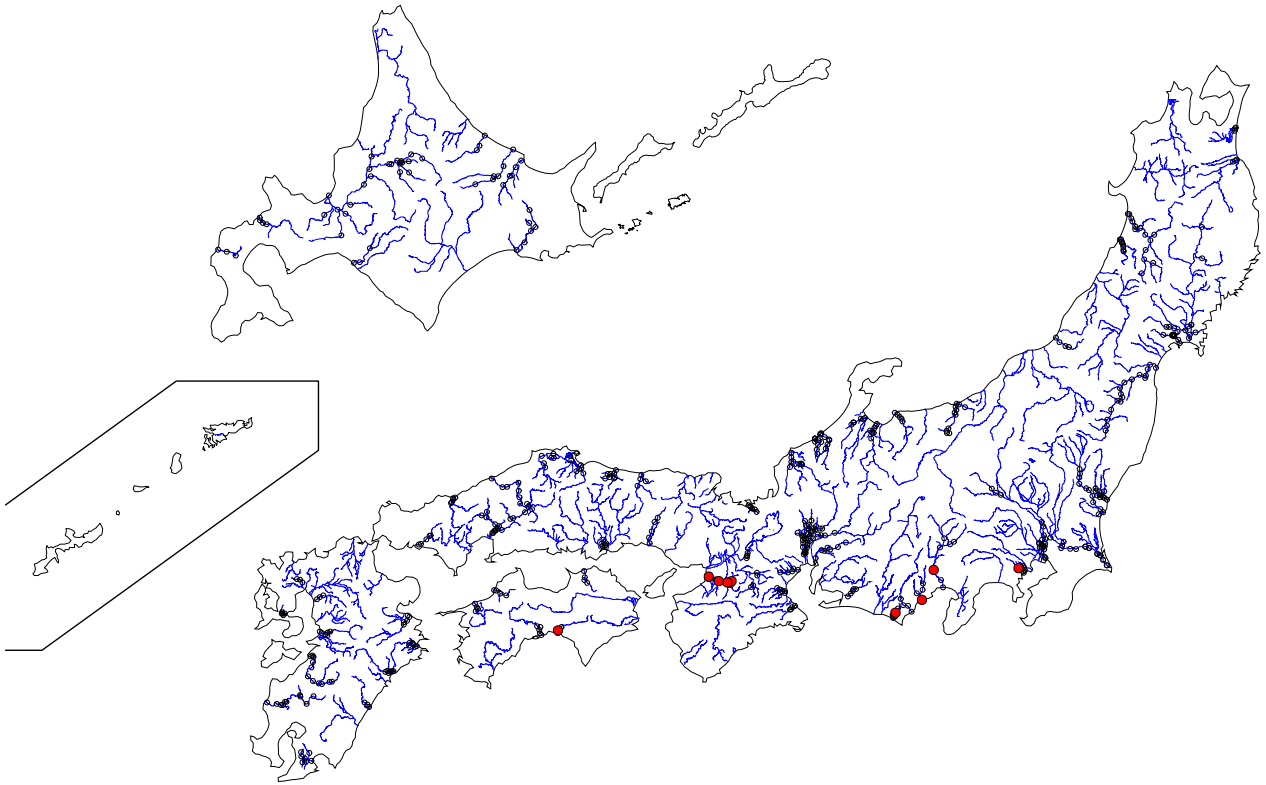


注1) ※は、二級水系（河川）を示す。

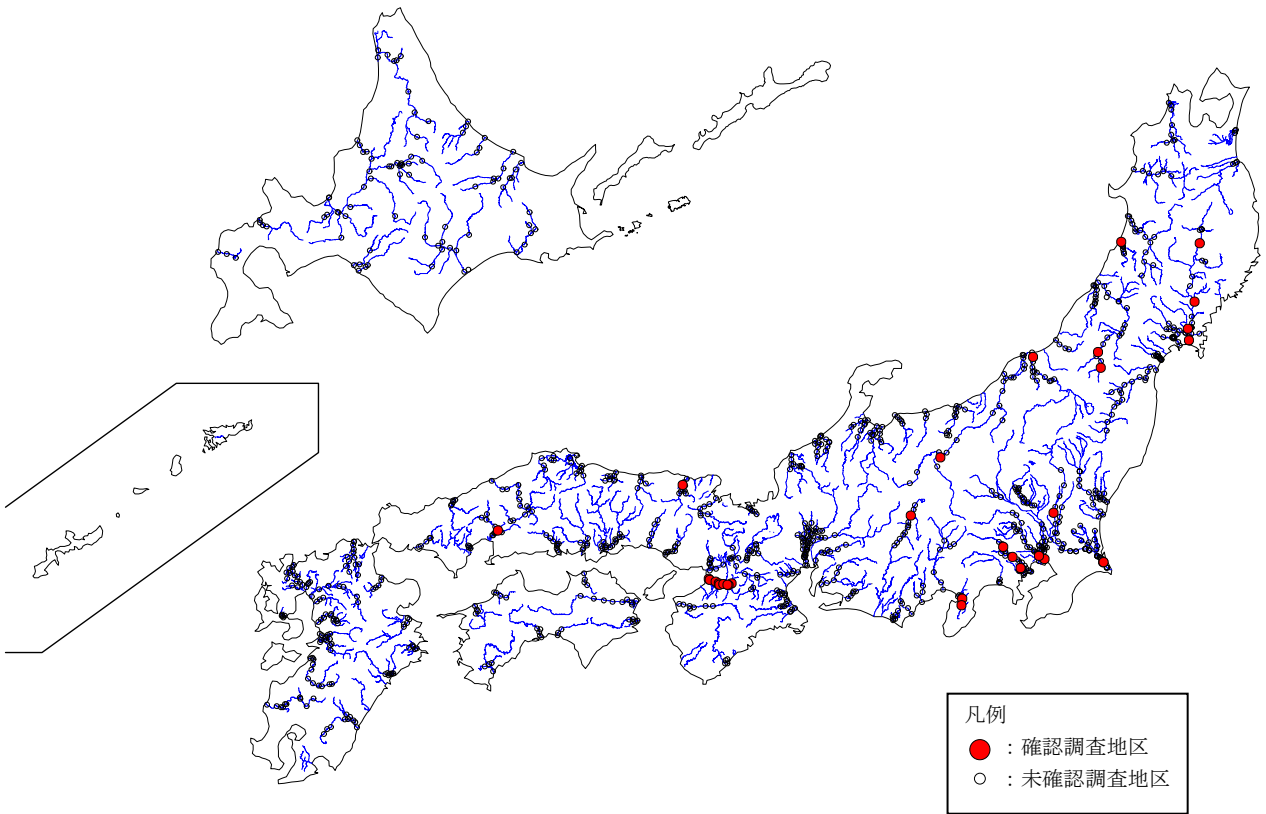
注2) 4巡目調査は調査実施途中で、123河川中13河川が調査未実施である。

グッピーの確認された地域（3巡目調査、4巡目調査）

1 巡目調査 (平成 2～7 年度)

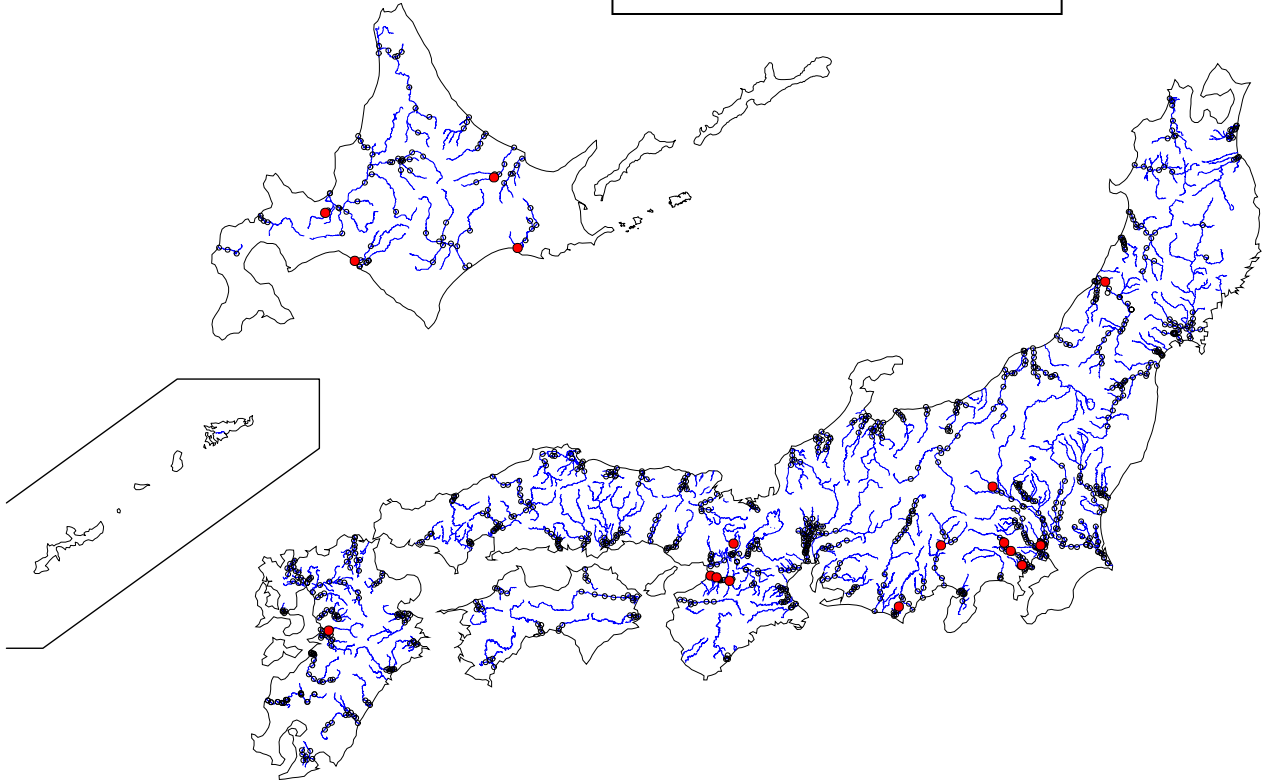


2 巡目調査 (平成 8～12 年度)

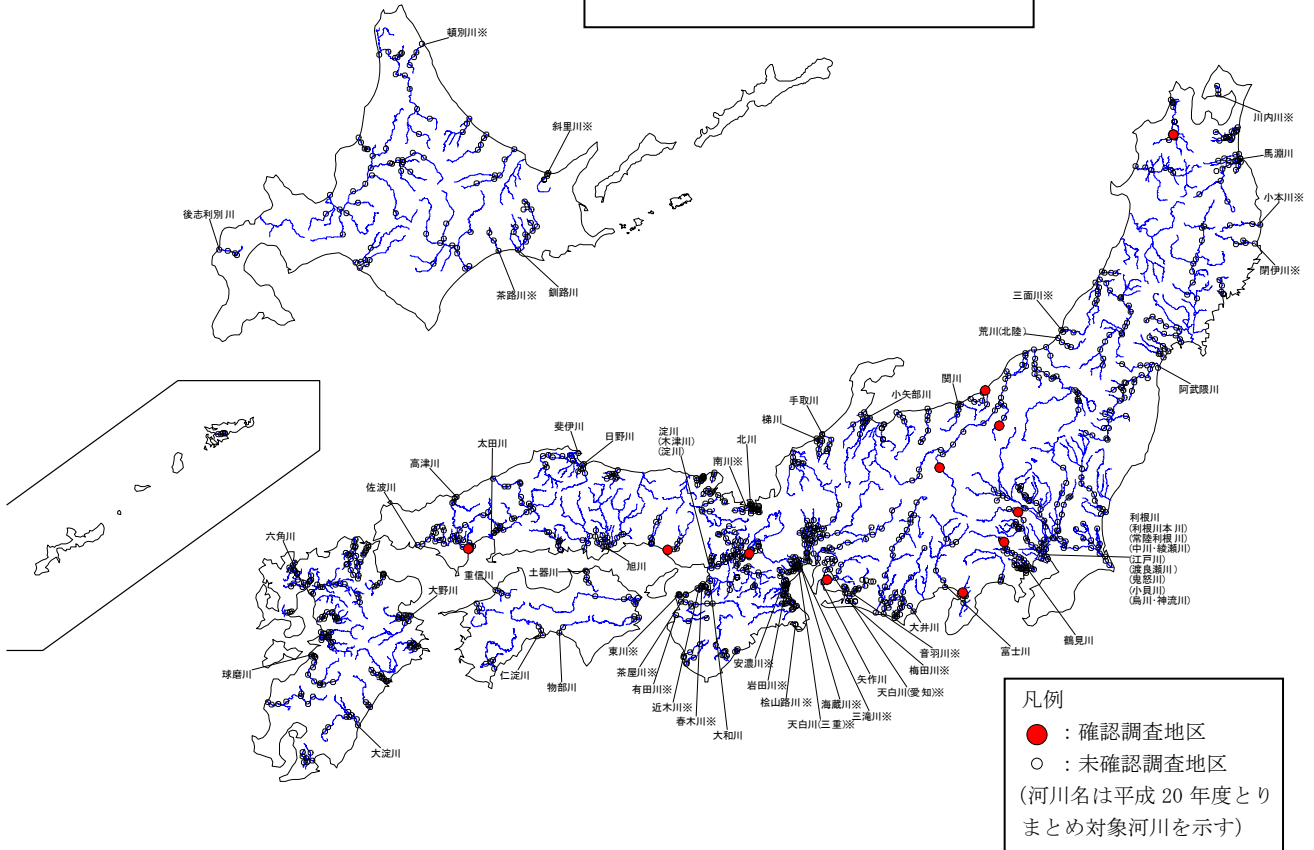


キングヨの確認された地域 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～21 年度）



注 1) ※は、二級水系（河川）を示す。

注 2) 4 巡目調査は調査実施途中で、123 河川中 13 河川が調査未実施である。

キングョの確認された地域（3 巡目調査、4 巡目調査）